

令和7年度飼料作物栽培基準（春夏作）

吉岐地域農業振興協議会畜産部会

吉岐市スマート農業推進協議会

作物名	品種名	奨励品種	作型・利用タイプ		品種の特性	播種				刈取回数 生草収量	施肥（10a当たり）		栽培上の要点
						期間	適期	播種法	播種量 （10a当たり）		元肥	追肥	
ソルガム	元気ソルゴー	奨励品種	スーダン型	早生	早生、細茎で耐倒伏性に優れ、再生力良好。	4月下～8月上旬	5月中～6月中旬	散 播	2～3 k g	2～3回 7～8 t	元肥として 堆肥2 t、 苦土石灰100kg/10a を別途施用	OBBNK2号を 5～6葉期に 30 k g 刈取り後に 40 k g リン・カリが 十分ある場合は 牧草の力を 35 k g	①.播種適温17～20℃、生育温度30℃前後である。 ②.早播は初期生育が遅く、イネ科雑草に被圧され易いので雑草防除に注意する。 ③.若い茎葉は青酸含量が高く、青酸中毒を起こすことがあるので、草丈1 m以上になってから給与する。（目安として1 番草：播種後55日、2 番草：刈取後40日以降） ④.窒素多施用（特に糞尿の液肥）は硝酸態窒素中毒を起こすことがあるので、窒素多施用はしない。 ⑤.刈取り適期は、乾草の場合、スーダンは出穂前の草丈1．5m前後。ソルガムサイレーシ向けは乳熟期から糊熟期が良い。
	短尺ソルゴー	奨励品種	子実型	早中生	早中生、小型の子実型。耐倒伏性に優れる。				2～3 k g	2～3回 5～6 t			
	シュガーグレイズ	奨励品種	ソルゴー型	中晩生	草丈は低く、茎葉が細いものの乾物収量が多い。				2～3 k g	1～2回 4～8 t			
	ビッグシュガーソルゴー	奨励品種		極晩生	極長稈、乾物多収、夏播きに適す。				2～3 k g	1～2回 4～8 t			
スーダン	ハイスーダン	奨励品種	乾草サイレーシ	極早生	極早生、極細茎、分げつが多く、再生力旺盛で多刈りに適。	4月下～8月上旬	5月中～6月中旬	散 播	条播 2～4 k g	2～3回 6～7 t	BB吉岐284を 80 k g 又は BB48 BB特48 いずれかを 60 k g 土壌分析等でリン・カリが十分ある場合は （堆肥を毎回施用している場合）	BBNK2号を 刈取り後に 40 k g	⑥.アブラムシ対策は、生育初期に多発が予想される場合は早めの薬剤散布（スミチオン乳剤、粉剤2）を行い、刈り取り期間近で多発した場合には直ちに刈り取る。
	リッチスーダン			早生	早生、耐倒伏性と消化性に優れ、可消化乾物収量が高い。								
	パールスーダン			中生	中生、極細茎で、草丈が高い。耐倒伏性。	5月上～8月上旬			散播 6～8 k g				
ギニアグラス	ナツカゼ	奨励品種	青刈乾草	早生	出穂が遅く、稈は太く、葉幅広く、長大型の多収型。	4月中～6月中旬	5月上～6月上旬	散 播 （J-T種子）	1～2 k g (2～3 k g)	3回 8～10 t	牧草の力を 60 k g	BBNK2号を 刈取り後に 40 k g	①.生育適温30～35℃、20℃以下では生育が緩慢。 ②.耕起・碎土・整地を丁寧に行う。鎮圧を確実に行う。 ③.種子が小さいので播種むらに注意。 ④.コート種子の利用は、播種作業が容易。
ローズグラス	カタンボラ	奨励品種	乾草主体		日長感応性が高いため出穂は秋季に多くみられる。ほふく型であり、夏季の乾物収量が高い。	4月下旬～	5月中～7月中旬	散 播	1.5～2 k g	3回 7～8 t			①.1 年目は掃除刈りを行いバヒアの定着に努める。 ②.播種は降雨前に行い鎮圧をする。
バヒアグラス	ペンサコラ	推奨品種	放牧乾草		2 倍体で葉長が長く、葉幅が狭い。低温伸長性が良好。	4月下～8月下旬	5月下～6月上旬	散 播	3 k g	放牧 2年目以降 5～6 t 採草 4～5回 6～8 t			
湿田用作物	青菜ミレット	推奨品種	青刈乾草	中生	中生、水田転作地等の排水の悪い場所でも栽培が可能。	5月中～7月下旬	6月下～7月中旬	散 播	3～4 k g	1回 5～6 t	無	無	①.播種時耕起・碎土・整地は丁寧に覆土は浅く行う。 ②.刈取りは、穂ばらみ期～出穂期に行う。

（その他注意事項）

1. 水田や排水の良くない畑では、排水溝をつくり、湿害とないようにする。
2. ソルガムの畑地1年生雑草の除草剤はゲザプリムフロアブル水和剤（100～200mlを100ℓに希釈/10a）、又はゲザノンゴールド（140～260mlを70～100ℓに希釈/10a）を播種直後に使用する。
3. 雑草の発芽を抑制するためにも堆肥センター等を活用した完熟堆肥の利用を心掛けましょう。

令和7年度飼料作物栽培基準（秋冬作）

吉岐地域農業振興協議会畜産部会

吉岐市スマート農業推進協議会

作物名	品種名	作型・利用タイプ	品種の特性	播種				刈取回数 生草収量	施肥（10a当たり）		栽培上の要点
				期間	適期	播種法	播種量 （10a当たり）		元肥	追肥	
イタリアンライグラス	Kyushu1	極早生	いもち病抵抗性が優れ早播き栽培に適する。 <u>年内草収量、春一番草の乾物収量が多い。</u>	9月中～ 11月下旬	9月中～ 10月上旬	散 播	3～4 k g ※9月播種の 場合は4～5 k g	2～3回 8～12 t	元肥として 堆肥2 t、 苦土石灰100kg/10a を別途施用 BB吉岐284を 80 k g 又は BB48 BB特48 いずれかを 60 k g 土壌分析等でリン・カリが 十分ある場合は （堆肥を毎回施用している 場合） 牧草の力を 60 k g	BBNK2号を 刈取り後に 30～40 k g	①生育適温10～20℃、6℃以下及び25℃以上で生育停止。 ②利用期間、利用目的により品種を選定。 ③播種後鎮圧し、圃場の均平を図るとともに発芽を促進。 ④多肥栽培及び冬期干天後の降雨により急伸長した若刈イタリアンは、硝酸態窒素中毒に注意する。 ⑤刈取り適期は、出穂期を目安し、刈り遅れに注意する。
	はやまき18	早生	いもち病抵抗性が優れ早播き栽培に適する。倒伏耐性に優れ、 <u>乾物収量が多い。</u>		10月上 ～11月上旬		3～4 k g	2回 8～10 t			
	タチワセ		直立型で東風に強く、乾物収量も安定している。								
	ワセユタカ		茎が太く、多葉で早春の収量性が高い。倒伏に弱い。								
	タチユウカ		硝酸泰窒素、カリウムの蓄積が少なく、直立系で倒伏に強い。乾物収量も高い。								
	ジャイアント	中晩生	4倍体種。広葉で収量性が高く、再生力強いので放牧利用にも適する。								
エンバク	ウルトラハヤテ韋駄天	超極早生	極早生より出穂と登熟が早く、乾物収量が高い。耐倒伏性に優れる。	9月上～11 月下旬	晩夏播き 9月上～9月 下旬 秋播き 11月上～ 11月下旬	散 播 又は 条 播 (45～60cm)	条播 5～6 k g 散播 8～10 k g	1回 4～6 t			①品種は早～中生種を選定し早播の場合は、生育と中で青刈りを組み合わせる。 ②水田では酸性矯正、排水対策に留意する。 ③刈り取り時期は、青刈りの場合は出穂始め、ホールクロップの場合は糊熟期を目安にする。 ④サビ病が発生する恐れがあるときは、早めに刈り取る。
	スーパーハヤテ隼	極早生	出穂早く、晩夏播きで年内登熟可能。倒伏にやや弱いが乾物収量が高い。								
	アーリーキング		耐倒伏性が強く草丈高い。多収。さび病、ひょう紋病に強い。								
	アムリⅡ	中生	耐倒伏性、耐病性ともに強く、多収。								
イタリアンライグラスとエンバクの混播 （イタリアン早生品種とスーパーハヤテ隼）		青刈り サイレージ		8月下～9月 上旬	9月上旬	散 播	イタリアン 3 k g エンバク 3～4 k g	3回 8～10 t			①9月下旬までに播種しないと年内えん麦の子実収量は期待できない。 ②散播はイタリアンとえん麦を別に播種しムラの無いよう注意する。 ③年内に乳熟期以降に達した場合に刈り取る。
イタリアンライグラスの不耕起播種 （Kyushu1もしくは、はやまき18）		水稻立毛間播種	Kyushu1、はやまき18は、いもち病抵抗性が優れ、9月播きに適する。 水稻刈取り前に播種するため、耕起作業の省力化が可能。	9月中～ 10月中旬	9月中～ 10月上旬	ドローンなど による 散 播	4～5 k g	1～2回 4～8 t	元肥なし	尿素20kgもしくは 硫安50kgを追肥。 追肥時期は、 12～1月追肥。	①播種は9月中旬以降に行う。 ②稲刈りはイタリアンライグラスが発芽前もしくは草丈が3cm以内に行う。稲の収穫が遅れると、発育障害が発生する可能性がある。 ③不耕起播種の場合、雑草の侵入に注意。雑草の発生が多い場合は、対策として、掃除刈りを行う。

（その他注意事項）

1. 収穫適期は、乾草利用で穂ばらみ期～出穂期、サイレージ利用は出穂後25日～35日です。
2. 若刈りのイタリアンは硝酸中毒等に注意し、雨や曇天の直後には刈取りを行わない。また、施肥後20日間は刈取りを行わないでください。
3. イタリアンの1年生雑草（イネ科雑草は除く）の除草剤はハーモニー75DF（3～5gを100ℓに希釈/10a）し、雑草生育期（ただし採草21日前まで）に使用する。
4. 雑草の発芽を抑制するためにも堆肥センター等を活用した完熟堆肥の利用を心掛けましょう。